

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	白馬ラン&サイクルスタンプラリー		
事業主体 (連絡先)	白馬ラン&サイクルスタンプラリー実行委員会 0261-75-2895		
事業区分	【6】産業振興、雇用拡大に関する事業 (特色ある観光地づくり)		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	1,215,373 円 (うち支援金 :	935,000 円)	

事業内容

コロナ禍でも安全に参加でき、集客する側も安心して勧める事のできる白馬全域を使ったアウトドアスタンプラリー。「いつでも、だれでも、どこからでも」をコンセプトに、20年以上前に整備されたサイクリングロードをベースにイベントオリジナルのコースを設定し、24か所のチェックポイントを設けました。「ラン&サイクル」だけでなく紙媒体の備品は用意せずゼロカーボンで自然を楽しむ事を目的に開催。

- ・白馬小径の清掃と整備 (4月~6月)
- ・イベント開催 (8月1日~10月30日)
- ・新聞折込チラシでの宣伝 (9月)
- ・コースとチェックポイントの保守点検 (開催期間中)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・コロナ禍において観光客だけでなく、遠方に旅行する事を控えていた地域住民の方にも参加していただき、集客と健康増進に貢献できた。
- ・廃止も検討されていた「白馬小径」を再利用する事で新たに自然を壊すことなく既存の観光資源を活用できた。また、このイベント期間中の巡回作業中に古くなった道標やコースの整備を行う事ができた。
- ・週末やイベント開催日だけに偏りがちな集客を分散し、白馬全域を巡ってもらう動機付けが行えた。また、密にならず参加者のタイミングで楽しんでもらえた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

イベントの時だけの集客、週末に偏った集客から脱するためには白馬村に来ること自体が目的となるような環境作りや意識の変化が必要だと感じています。そのために地域住民が観光スポットだけでなく白馬全体の良い所を知り、ランニングやサイクリングの楽しさを知る人が増えることが大切だと感じています。参加の敷居がとても低いこのイベントをきっかけにゼロカーボンで手軽に楽しめる自然豊かな白馬を年間通して発信し、グリーンシーズンの集客とサイクルツーリズムの推進を観光都市として進めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【チェックポイント看板】

【目標・ねらい】

- ①密にならない安心安全な集客
- ②ゼロカーボンで白馬村を楽しむ
- ③白馬村全域で行う集客イベント
- ④既存施設の活用 (白馬小径)

※自己評価【 B 】

【理由】

昨年の延参加者 1333 人より増え 1562 人ではあったが目標の 1750 人には届かなかった。大きなトラブル無く 3 か月と長い開催期間のイベントを運営できた。